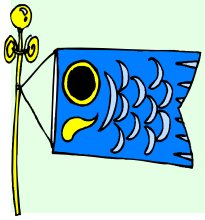
2012.5

■ 信州大学・前期のFDのお知らせ
■ 平成24年度信州大学新任教職員研修FDの報告
■文献から～論文紹介
■スタッフからひとこと

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY | 高等教育研究センター

信州大学・前期のFDのお知らせ



高等教育研究センターでは本年度、学生の学習プロセスの理解を中心とした講演やワークショップのシリーズを2種類企画しています。ひとつは信州大学教育学部高橋知音先生による発達障害を理解するための講演シリーズ（主催：高等教育コンソーシアム信州）、もうひとつは、アメリカからFDの専門家をお招きして全学的に行う講演・ワークショップシリーズです。ここにご案内を差し上げますので、ぜひご都合お繰り合わせの上ご参加くださいまして、学生への指導にご活用いただきたく、御願い申し上げます。

Mark your calendar now!

◎高橋知音先生（信州大学教育学部）をお迎えしての講演シリーズ（高等教育コンソーシアム信州主催）

第1回：5月16日（水）14:40-16:10「発達障害のある学生のための学習支援」
【会場】 教育学部キャンパス 実践センター2階遠隔講義室
【SUNS遠隔配信会場】 松本キャンパス 旭会館SUNS大会議室 ／ 工・農・繊維学部 各キャンパスSUNS会議室

第2回：6月22日（金）16:20-17:50「発達障害のある大学生の立場から」
【会場】 教育学部附属図書館2階視聴覚室
【SUNS遠隔配信会場】 松本キャンパス 全学教育機構61番講義室/工学部103番教室/農学部12番講義室/繊維学部32番講義室

第２回は、実際に発達障害を持ち、それを克服した学生をゲストに迎え、体験談をお話していただくものです。また、8月以降に開催予定の第3回・第4回にもどうぞご参加ください。日程は改めてお知らせいたします。

◎Kathleen T. Brinko先生（米国ノースカロライナ州アパラチアン州立大学・FDセンター長）をお迎えしてのFDシリーズ

★講演：「共通の理想をめざして—Working Toward the Common Good: Breaking Down Barriers」
6月29日（金）13:00～15:00（予定） 会場：松本キャンパスSUNS大会議室 ★SUNS配信：各キャンパスSUNS会議室

FDやSDは単なる「職能開発」ではなく、そのキャンパスで働く人々のQOL（クオリティー・オブ・ライフ）を高めるためのものである、とアメリカの大学では考えられています。互いが互いを認め感謝する人間関係を構築し、多様性を受け入れることは、個人の生活と職場を豊かなものにします。女性研究者や女性職員、外国人教職員や障害者など、マイノリティーの可能性を広げる職場環境を整え、支援することは、学生への教育にも強い影響を与えることを、アメリカの大学の経験をベースにして、お話をいただきます。その後、日本や信州大学の文脈における方向性や可能性について、活発に議論をする時間を持ちたいと思います。日本語の逐次訳付きです。

★ワークショップ（各学部を対象として実施）：

各学部にお伺いして、各学部の先生方と共に実施いたします。日本語の逐次訳付きで行います。実施会場やお申込みにつきましては、各学部の学務グループにお問い合わせください。また、学部によっては、他学部からの参加も受け入れております。あわせてお問い合わせください。

6月25日（月）	13:00-14:30	農学部「学生との接しかた：学習における情緒と認知の側面から」
6月26日（火）	14:40-15:30	全学教育機構「大講義のしかた」
	16:30-18:00	医学部保健学科「アクティブ・ラーニングを使った授業デザインと方法」
6月27日（水）	13:00-14:30	教育学部「内省できる実践家を育てる」
	16:30-17:50	経済学部・法曹法務研究科「内省できる実践家を育てる」
6月28日（木）	13:00-14:30	高等教育研究センターへの助言
	16:20-17:50	工学部（テーマ未定）
7月 3日（火）	13:00-14:30	理学部「学生のやる気を高める方法」
	14:40-16:10	全学教育機構「学生は教員からの情報をどのように受け取っているのか：学習における情緒と認知の側面から」

▲Kathleen T. Brinko先生

平成24年度FDプログラムのご案内

高等教育研究センターでは以下のメニューをご用意し、各学部や学科で必要な時にいつでもご利用いただけるようにしております。学部・学科単位ではなくとも、ご希望があれば、5人以上から対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

GPA関連
- ＊GPA制度導入に際してのポイントや課題
- ＊主体的な学びを促す評価の構造と成績のつけかた
- ＊課題の出しかた・評価のしかた・指導のしかた（ルーブリックと形成的評価）

教育方法関連
- ＊シラバスの書き方（シラバスは2月中旬～下旬に締切）
- ＊参加型授業の運営の仕方
- ＊学生の問題行動などへの対処の仕方
- ＊信州大学の学生を知る
- ＊学生相談センターの利用について（学生相談センターと協力）

研究推進関連…科研費のとりかた（応募の学内締切は10月ごろ）など

大学運営関連
- ＊教員業績書の書きかた（11月から12月に締切）
- ＊DPなど信州大学の教育方針の理解
- ＊大学の生産的な文化の育成

（男女共同参画・ワークライフバランス・人間関係の維持の方法）など

左記以外の内容につきましても、学部や先生方のご要望に沿ってご用意いたします。お気軽にお問い合わせください。

★FDに関するお問い合わせ★
加藤善子 katoy@shinshu-u.ac.jp
内線：811-7236

平成24年度信州大学新任教職員研修においてFDを行いました【4月2日（月）】

▲松本キャンパス会場の様子

4月2日（月）、平成24年度信州大学新任教職員研修の一環として「信州大学の教育について」をテーマとしたFDを高等教育研究センターが担当しました。当日は松本キャンパス人文学部会議室を主会場として各キャンパスに遠隔配信を行い、計50名の新任教職員が参加しました。

グループごとの自己紹介から始め、和やかな雰囲気になったところで、赤羽教学担当理事より歓迎の挨拶がありました。続いて、矢部高等教育研究センター副センター長より高等教育研究センターについての紹介、小池高等教育研究センター長より、信州大学の学位授与の方針や教育課程編成の方針等について説明を行いました。 次に、高等教育研究センター加藤善子准教授より、信州大学の学生について、平成23年度に実施した新入生調査の結果を基とした情報提供を行い、参加者同士で意見交換を行いました。最後に、高等教育研究センター加藤鉱三教授より、信州大学におけるGPA制度導入についての検討の経過、および成績評価の素点入力について説明を行いました。

終了後のアンケートでは、「信州大学の現在の課題等が良く理解できた。」「信州大学の学生について、知識がなかったので今後の活動に役立つと思いました。」等の感想が見られました。

●○当日の配布資料は高等教育研究センターウェブサイトにてご覧いただけます⇒http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rche/

～GPAに関する研究を紹介～

文献から

Hsieh, P., Sullivan, J.R., & Guerra, N.S. (2007). A Closer Look at College Students: Self-Efficacy and Goal Orientation, *Journal of Advanced Academics* 18-3, 454-476

高等教育という研究分野では、大学進学希望者の底辺拡大という状況の中で、どのような学生が大学での学業を無事全うし、どのような学生がドロップアウトしていく傾向にあるかについて研究が盛んに行われている。どのような姿勢・信念体系を持つ学生が学業不振に陥りやすいというようなことが分かっていれば、そのような学生に対しどのように助言していけばいいかが分かるからである。この論文もそういう目的で書かれたものである。

この研究では、GPAが良好な学生群とGPAが2.0を下回る「仮及第」(probation)中の学生群に対し、課題への取り組み方に関する自分の傾向をアンケート調査した。その結果、仮及第群ではそうでない学生群と比べて、課題がある時に、失敗や能力がないことが露呈することを恐れてその課題に取り組もうとしない傾向が顕著にあることが分かったと報告している。そういう学生（performance-avoidance goalsを設定する傾向を持つ学生）は助けを求めようとしないため、そのような学生には大学側が積極的に救いの手を差し伸べていく必要がある、としている。 （加藤鉱三）

スタッフからひとこと

中教審大学教育部会が、「予測困難な時代に（後略）」という長い名前の『審議まとめ』を出しました。そこへ行くまでのロジックはともかく、「学生が勉強する大学にしなければ」という使命感を強く打ち出しています。その部分は共有できますし、それが実現できればそれこそが大学の存在意義を全うできていると見なすことができましょう。100%本気で取り組むべき課題であり、（アメリカではできているらしいので）実現できないこともない課題でもある、と捉えています。 （教授 加藤 鉱三）

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY | 高等教育研究センター
■〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
■TEL：0263-37-2194（担当：学務課教務グループ）
■MAIL：campus-rche_info@shinshu-u.ac.jp
■URL：http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rche/